

県本部大会特集号

当面の日程

- 17日 現業・公企第2次統一行動日（各単組）
25日 部落解放研究兵庫県集會（のじぎく会館）
6日 確定闘争勝利！県本部決起集會（のじぎく会館）
6日 秋期闘争勝利！青年女性決起集會（ひょうご共済会館）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1683号

2025. 10. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／北池 宏光・編集人／秦 信昭

山下委員長あいさつ要旨

一人の百歩より百人の一步

未来を切り開く学びと行動で組織拡大へ



県本部の課題を3点に絞って申し上げます。第1は政治活動です。先の参議院選挙で「岸まさこ」さんが当選したが、県内の得票状況を見れば、私たちの発信力が十分でないことが浮

き彫りになった。また、国政は不透明さを増しており、排外主義やポピュリズムを掲げる政党が議席を伸ばすなど、暮らしや行政に不安を与える動きも強まっている。だからこそ、議員活動と組合活動を結びつけ、組合員に見える取り組みを進めることで、政治参加の大切さを広げる必要がある。

第2は現業・公企闘争と確定闘争。上下水や道路など公共インフラを担う職場

を改善することは、市民生活を守る社会運動そのものだ。労働協約や労働委員会の活用を強化し、評議会運動の力を高めることが組合全体の底上げにつながる。また、確定闘争では人事院勧告の完全実施に加え、誰もが38歳で4級に到達できる昇格運用を追求し、生涯賃金や退職金を含めた処遇改善を実現しなければなら

ない。第3は組織拡大と運動強化。これまでの運動の積み重ねが現在の到達点を築いたが、歩みを止めれば成果すら失われる。新たな課題には若い力と新しい発想が不可欠であり、学習を通じて労働組合の基本を共有することも重要。二人の百歩より百人の一步」が大事。役員任せでなく、全員が学び、考え行動する取り組みが未来を切り開く。皆さんの積極的な発言で、運動と組織強化をつなげる大会にしよう。



尾西新委員長の団結ガンバロウ

県本部は10月4日に神戸・ラッセホールで第76回定期大会を開催した。大会には107人の代議員が出席し、報告で3人、議案で13人の代議員が発言した。新年度の運動方針や秋の確定闘争に向けた当面の闘争方針、組織計画中間総括など、全ての議案が圧倒的多数の賛成で可決された。

大会議長には土取節夫代議員（兵庫県職労）、永川衣美代議員（神戸市職労）が選出され議事を進めた。山下忠之委員長が県本部を代表してあいさつを行ったあと、自治労本部の石上

千博中央執行委員長、連合兵庫の那須健会長をはじめ多くの来賓が祝辞を述べた。また、午後からは組織内の岸まさこ参議院議員、松本美和子・加東市議などがあいさつした。

経過報告に関しては、国民皆保険を取り巻く状況、会計年度任用職員の処遇改善への取り組みなど3人から発言があった。

また方針では単組の組織強化の取り組みや課題、会計年度任用職員の処遇改善・格差是正、人員確保、平和人権に関する取り組みなど13人が発言した。

役員改選では委員長に尾西亮太郎さん（三田市職労）、副委員長に、三木大岳さん（姫路市職）、書記長に北池宏光さん（神戸市従）を新たな3役として選出。今後2年間を全力で取り組むことを確認した。

県本部第76回定期大会

組織強化・拡大に全力を

尾西新執行部体制を確立

石上中央本部執行委員長
減税論に異論、処遇改善に全力

所得税や住民税、消費税などの減税が議論されているが、その先にはどのような社会を築くのかという視点が欠けている。例えば「103万円の壁」を178万円に引き上げれば、全国で住民税が4兆円減少し、自治体は予算を組めなくなる。公共サービスや地域医療を守るどころか、人材確保も困難とならかねない。こうした議論に対し、私たちは職場の声を政府に届ける役割を果たす。また、34



年ぶりに3%超となった人事院勧告は、長年の要求が実った成果だが、確定闘争では格差是正や処遇改善を進め、中途採用者や会計年度任用職員の課題にも取り組むことが重要。

岸まさこ参議院議員

賃上げ困難 財源確保を国に求める

この間のご支援に心より感謝する。今回、自治労の議席を守ることができた。現在、自民党は総裁選に終始し、国会を開かず政権の先行きは不透明。維新との連立が取り沙汰される中、副首都構想など地方自治に影響する問題も浮上している。私は国会で意見を反映し、党内でも対応を進めていく。

別や排外主義をおおる政党が議席を得たことは大きな課題。現在、自民党は総裁選に終始し、国会を開かず政権の先行きは不透明。維新との連立が取り沙汰される中、副首都構想など地方自治に影響する問題も浮上している。私は国会で意見を反映し、党内でも対応を進めていく。

公立病院の8割以上が赤字であり、賃上げ実施に困難が生じている。地域医療を守るため、国に財源確保を求めていく。財源なき減税論が広がる中、社会保障を持続可能にし、誰もが安心して暮らせる社会を守ることが政治の責任だ。

いまいち座

障害労働者には「できる事」と「できない事」がある

僕は身体障害者になりました。
(身体機能障害・歩行困難)
※実話です。

大 植 賢(豊岡市職労)

しこう

自分の年齢が、六十代前半で早逝した親の享年に近づいてきた。親の享年を迎えることは、これまでの年齢の通過とは違い、大きな節目という感覚になる▼「親がこの年で亡くなった」という事実は、時間の重みを一層際立たせる。その年齢を越え、親が生きられなかった時間を元気に生きていきたい、そんな不安や希望が入り混じった複雑な感情を呼び起こす▼若い頃は、親の年齢など意識したことがなかった。だが年齢を重ねるほどに、親がどんな思いでその年を過ごしていたのかを肌で感じられるようになる。仕事や家庭の責任、体力の衰え、ささやかな楽しみ。その全てが今の自分に重なって見える▼親の享年を越えて歩む道は、自分自身の人生の仕上げという感覚が強くなることだろう。受け継いだバトンを次の世代へ繋いでいくために、公私で与えられた役割をしっかり果たしていこうと思う。

16人の代議員が討論で各議案を補強

経過報告で3人が発言

公平な処遇と雇用の安定を
嘱託労組 阪本代議員

55歳昇給
停止制度の
撤廃に向け
た協議を報
告し、「年齢に関係なく意
欲を保てる賃金体系を」と
訴えた。また、委託化で69
歳の組合員が雇い止め通告
を受けた事例を紹介し、「合
理化の名で人を切るな」と
抗議。公正な処遇と雇用安
定を求めた。

組は連合・本部と連携し慎重な制度設計を要求。国民皆保険を守るたたいを継続すると決意した。

制度逸脱の危険

加東 臨嘱労 門上代議員

会計年度任用職員の処

26年度方針・予算・当面闘についての発言

予算配分について

姫路市職 山本代議員

方針にある「差別を許さないたかい」を
実際にどう実践するのか。また、予算案で人件費が削減される一方、評議会費が据え置かれている点に疑問とし説明を求める。

処遇改善と公募試験廃止

丹波 臨嘱労 泉代議員

会計年度任用職員の公募試験制度の廃止に至った経緯を報告。粘り強い交渉の末、今年7月に任用回数制限の廃止が実現したと説明。しかし「処遇改善はまだ道半ば」とし、継続して取り組む。

5期目への支援要請

神河町職 前川代議員

組織内首長である山名宗悟町長の実績を紹介。11月の町長選で5期目をめざす山名さんへの支援を呼びかけ、「労使対等の姿勢を貫く首長を再び」と政治闘争への協力要請を訴えた。

公営堅持とブロックのあり方

高砂市職 吉田代議員

高砂市民病院の経営を「指定管理制」に移行する市長方針に反対し、「公設公営維持を求める」と訴えた。また、ブロック体制の抜本的見直しを提

人員不足と安全確保

いたみ指労 西尾代議員

学童保育現場での深刻な人員不足を訴えた

案。「県本部に一元化し、事務をスリム化すべき」と述べた。

評価制度と民間委託への懸念

加西クロバール組 古角代議員

労使協議なしに、低評価者が雇止めされ

とを忘れてはならない」と強調。また、「子どもと保護者を支える仕事に見合う処遇を」と訴えた。

組織強化と広報の重要性

三田 市職 榎代議員

加入率低下を背景に「広報による理解促進」が不可欠と指摘。「思いを伝え続けられ、共感の輪は広がる」と語り、組合の情報発信の強化を訴えた。また、良質なサービス提供には、賃金確保が重要

組強計画中間総括を補強

病院の経営難と単組強化

八鹿病院 職組 村尾代議員

公立病院の財政悪化が続く中、今年の確定

担い手不足に危機感

加西市職 稲木代議員

は厳しいものになると予想。単組強化では、ヨガや

と述べた。

くりの一環で、40代職員を対象にランチ会を開催し、組合の意義を直接

本部・組織討議案の取り扱いに対して

丁寧な説明と慎重な検討を

県職 安田代議員

組合員減少に伴う財政難を踏まえた中央本部の議案に対し、「持続可能な財政基盤の必要性は理解するが、専従役員を抱える単組の実情を踏まえ、丁寧な議論を」と求めた。

負担の公平性に疑問

南あわじ市職 村上代議員

「組合費き上げは不公平感もある」と述べ、「財政状況の丁寧な説明と、単なる値上げ論議にしない慎重な対応を」と求めた。

尾西新委員長を選出 新たに三木さんが副委員長へ 北池書記長、藤田書記次長に

執行委員長

尾西 亮太郎
(三田市職労)



副執行委員長
小原 王之
(神戸市従)



副執行委員長
森 哲二
(兵庫県職労)



副執行委員長
三木 大岳
(姫路市職)



副執行委員長
戎 剛
(淡路市職労)



書記次長
藤田 正也
(直属支部)



書記長
北池 宏光
(神戸市従)



執行委員 中野由香理(県職ブロック・兵庫県職労)
同 麻生 勇樹(県職ブロック・国保労組)
同 村上 敏光(神戸ブロック・神戸市職労)
同 山本由美子(神戸ブロック・神戸市従)
同 出口 誠(阪神淡路ブロック・西宮水労)
同 福永 大吉(阪神淡路ブロック・尼崎市職労)
同 嶋本 遼(播磨ブロック・西脇市労連)
同 長尾 智之(播磨ブロック・相生市労連)
同 水田 載久(但馬丹波ブロック・香美町職)
同 村尾 友和(但馬丹波ブロック・八鹿病院職組)
同 国広 大樹(町職員組合連絡協議会選出・佐用町職)
同 松本 賀仁(現業評議会選出・神戸市従)
同 澤田 拓実(衛生医療評議会選出・豊岡病院労組)
同 岡田 大(政府関係労組評議会選出・社保労連兵庫支部)
同 山本三千子(臨時・非常勤職員等評議会選出・加東市臨嘱労)
同 今村龍乃介(青年部選出・稲美町職)
同 澤田 典子(女性部選出・たつの市労連)
同 安光えみよ(公営競技評議会選出・阪神競走労組)
同 荻田 洋介(公共サービス民間労組協議会選出・宝塚社協労組)
同 西川 雅之(全国一般選出・全国一般兵庫労組)
同 藤野 雄大(都市公共交通評議会選出・神戸交通労組)
同 荒西 正和(県本部書記局選出・直属支部)
会計監査委員 平田 信夫(阪神淡路ブロック・猪名川町職)
同 吉田 正人(播磨ブロック・高砂市職)
同 高木 知宏(但馬丹波ブロック・新温泉町職労)

今回の大会で退任された役員

今回の大会で下記の役員が退任致しました。在任中のご支援に心から感謝を申し上げます。

執行委員長 山下 忠之(播磨ブロック・高砂市職)
副執行委員長 足立 育生(播磨ブロック・神戸町職)
同 中川 敬市(但馬丹波ブロック・丹波篠山市職労)
書記次長 松本 賀仁(神戸ブロック・神戸市従)

※引き続き現評選出執行委員として選出

会計監査 松尾 雅史(播磨ブロック・加古川市職労)
同 安井 智士(但馬丹波ブロック・香美町職)
執行委員 小寺 忠則(神戸ブロック・神戸市職労)
同 北川 寿一(播磨ブロック・稲美町職)
同 宮本 義之(播磨ブロック・たつの市労連)
同 山本 陽一(但馬丹波ブロック・豊岡市職労)
同 植田 裕子(阪神淡路ブロック・尼崎競艇労組)
同 奥 博之(神戸ブロック・神戸交通労組)
同 秦 信昭(直轄ブロック・直轄支部)